



2021年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年6月14日

上場会社名 株式会社ツクルバ 上場取引所 東
 コード番号 2978 URL https://tsukuruba.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 村上浩輝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小池良平 (TEL) 03-4400-2946
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年7月期第3四半期の業績(2020年8月1日~2021年4月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年7月期第3四半期	1,137	△20.8	△236	—	△232	—	△253	—
2020年7月期第3四半期	1,436	32.3	△32	—	△38	—	△91	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年7月期第3四半期	△26.44		—					
2020年7月期第3四半期	△10.02		—					

1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年7月期第3四半期	3,054	897	28.3
2020年7月期	2,162	1,074	49.6

(参考) 自己資本 2021年7月期第3四半期 864百万円 2020年7月期 1,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年7月期	—	0.00	—	—	—
2021年7月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年7月期の業績予想(2020年8月1日~2021年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,472	△14.3	△563	—	△573	—	△587	—	△62.0

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細は添付書類P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年7月期3Q	10,126,900株	2020年7月期	9,799,700株
------------	-------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年7月期3Q	335,648株	2020年7月期	335,600株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年7月期3Q	9,576,284株	2020年7月期3Q	9,144,480株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算説明会について）

当社は、2021年6月14日（月）に機関投資家及びアナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社のウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大ならびにこれに伴う緊急事態宣言の発令およびまん延等重点措置による個人消費の低迷や経済活動の停滞により、国内の景気や経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような中、国内不動産市場においては、マンション及び戸建住宅用地の高騰と人手や資材不足等の要因による建築費の高騰と高止まりの状態が続いており、併せて新型コロナウイルス感染症拡大の影響による個人所得の減少や雇用環境の悪化による消費者マインドの低下など、予断を許さない状況にあります。

このような経済環境のもと、当社は、主力事業であるcowcamo（カウカモ）事業のサービス改善及び組織体制の強化による事業規模拡大、システム開発への投資などの施策を中心に組み立てまいりました。この結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,137,714千円（前年同期比20.8%減）、営業損失は236,908千円（前年同期は営業損失32,880千円）、経常損失は232,880千円（前年同期は経常損失38,354千円）、四半期純損失は253,224千円（前年同期は四半期純損失91,632千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、先の第1四半期会計期間より、従来の「シェアードワークプレイス事業」から「不動産企画デザイン事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

① cowcamo（カウカモ）事業

当セグメントにおきましては、主にリノベーション住宅のオンライン流通プラットフォームcowcamoの運営を通じて、中古・リノベーション住宅の仲介を行っております。当事業に係る外部環境は、新築マンションの価格の高止まりを受けた中古マンションの流通拡大およびリノベーションに対する顧客認知の高まりにより、リノベーションマンション流通市場は拡大基調にあります。

このような環境のもと、当社としては、事業のさらなる成長に向け、プロダクトの機能改善やオンラインを中心とした広告活動、物件案内を行う営業人員の拡充・教育、業務システムの開発、物件供給強化のための新サービスの開発などに取り組んでまいりました。その結果の一つとして、2021年4月には、「再販事業者支援サービス」を立ち上げ、cowcamo事業で蓄積したユーザーデータを用いて中古マンションの仕入再販事業者に対して「ブランド」化された物件企画の提案を行い、カウカモ上でブランドの「ファン」を蓄積していくことができる仕組みのトライアル検証を開始しました。

この結果、売上高は859,271千円（前年同期比26.1%減）、セグメント利益は37,066千円（前年同期比87.9%減）となりました。

② 不動産企画デザイン事業

当セグメントは、主にオフィス設計を中心とした設計・企画・空間プロデュースの受託事業およびコワーキングスペース・ワークプレイスレンタルサービスの企画・運営事業から構成されております。当事業に係る外部環境は、働き方の多様化やそれに基づく都心部におけるオフィス移転、分散、縮小の動きがみられ、当セグメントにおいては需要の拡大がみられました。

この結果、売上高は278,443千円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は13,647千円（前年同期比60.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の資産合計は3,054,527千円となり、前事業年度末と比較して892,157千円の増加となりました。これは主に、社債、転換社債型新株予約権付社債の発行等により現金及び預金が729,365千円増加したこと等によるものです。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債合計は2,156,990千円となり、前事業年度末と比較して1,069,428千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が8,654千円減少する一方、長期借入金が172,740千円増加し、1年内償還予定の社債及び社債がそれぞれ40,000千円、100,000千円増加、転換社債型新株予約権付社債が700,000千円増加したこと等によるものです。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は897,536千円となり、前事業年度末と比較して177,270千円の減少となりました。これは、四半期純損失253,224千円の計上、新株予約権が31,398千円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年7月期におきましては、プラットフォーム流通総額(PF GMV)の成長の継続を見込んでおりますが、スポットでの法人取引収益の減少や仕入再販取引による売上高を織り込んでいないことなどが減収要因となり、売上高は前事業年度比14.3%のマイナス、売上総利益は前事業年度比3.6%のプラスを見込んでおります。ただし、買主の要望等による仕入再販に起因する売上が発生する可能性があります。

また、当期におきましては、cowcamo(カウカモ)事業におけるユーザー基盤の着実な成長及びサプライサイドにおける事業機会の拡大という現状を踏まえ、収益機会を拡大し、プラットフォーム価値を高めていくことが当社の企業価値向上にとって重要であると考えております。かかる考え方にに基づき、サービスアップデート、サプライサイド強化を可能とする人材獲得のための投資を成長に向けて柔軟に行う方針です。かかる成長投資により、当期の各段階損益は赤字を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,613,625	2,342,990
売掛金	20,847	30,259
販売用不動産	—	206,285
仕掛品	3,161	4,625
その他	22,754	40,242
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	1,660,089	2,624,104
固定資産		
有形固定資産	380,880	284,726
無形固定資産		
ソフトウェア	—	78,629
無形固定資産合計	—	78,629
投資その他の資産		
敷金及び保証金	101,916	58,983
その他	19,485	8,084
投資その他の資産合計	121,401	67,067
固定資産合計	502,281	430,423
資産合計	2,162,370	3,054,527

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内償還予定の社債	40,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	115,407	106,753
未払金	83,371	82,965
未払法人税等	7,788	—
賞与引当金	—	53,128
その他	58,998	76,761
流動負債合計	305,565	399,608
固定負債		
社債	160,000	260,000
転換社債型新株予約権付社債	—	700,000
長期借入金	602,799	775,539
その他	19,198	21,843
固定負債合計	781,997	1,757,382
負債合計	1,087,562	2,156,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,183	30,632
資本剰余金	1,322,777	1,149,915
利益剰余金	△797,006	△253,224
自己株式	△62,421	△62,461
株主資本合計	1,073,531	864,862
新株予約権	1,276	32,674
純資産合計	1,074,807	897,536
負債純資産合計	2,162,370	3,054,527

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年8月1日 至2020年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2021年4月30日)
売上高	1,436,022	1,137,714
売上原価	453,189	237,124
売上総利益	982,833	900,590
販売費及び一般管理費	1,015,713	1,137,498
営業損失(△)	△32,880	△236,908
営業外収益		
受取利息	684	20
助成金収入	—	22,305
その他	622	662
営業外収益合計	1,306	22,989
営業外費用		
支払利息	1,583	6,294
社債利息	—	1,239
支払手数料	152	1,063
社債発行費	4,917	10,017
その他	128	346
営業外費用合計	6,781	18,961
経常損失(△)	△38,354	△232,880
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,276
固定資産売却益	—	961
資産除去債務戻入益	—	1,895
特別利益合計	—	4,133
特別損失		
出資金清算損	9,951	3,028
投資有価証券評価損	5,920	12,395
減損損失	25,797	—
移転関連費用	—	8,531
特別損失合計	41,668	23,955
税引前四半期純損失(△)	△80,023	△252,703
法人税、住民税及び事業税	2,142	520
法人税等調整額	9,466	—
法人税等合計	11,608	520
四半期純損失(△)	△91,632	△253,224

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年10月29日開催の定時株主総会において、欠損の填補を目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2020年12月1日に効力が発生しております。この結果、当第3四半期累計期間において、資本金が601,848千円、資本準備金が858,123千円それぞれ減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えました。また、資本金及び資本準備金の額の減少の効力発生を条件に、その他資本剰余金の金額の一部797,006千円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイ ン事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,162,242	273,780	1,436,022	—	1,436,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,162,242	273,780	1,436,022	—	1,436,022
セグメント利益又は損失(△)	305,834	34,588	340,422	△373,302	△32,880

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(賃貸用不動産の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期会計期間において、賃貸用不動産の取得を行いました。

これにより「不動産企画デザイン事業」のセグメントの資産が224,759千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産企画デザイン事業」及びセグメントに帰属しない全社資産において、減損損失を計上しています。なお、当第3四半期累計期間における当該減損損失の計上額は下表のとおりであります。

(単位：千円)

不動産企画デザイン事業	9,749
セグメントに帰属しない全社資産	16,047
計	25,797

当第3四半期累計期間(自 2020年8月1日 至 2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	cowcamo (カウカモ) 事業	不動産企画デザイン 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	859,271	278,443	1,137,714	-	1,137,714
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	859,271	278,443	1,137,714	-	1,137,714
セグメント利益又は損失(△)	37,066	13,647	50,713	△287,622	△236,908

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、従来の「シェアードワークプレイス事業」から「不動産企画デザイン事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第3四半期累計期間のセグメントの名称は、当第3四半期累計期間のセグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(販売用不動産の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期会計期間において、販売用不動産の取得を行いました。また、不動産企画デザイン事業の賃貸用及び自社利用の不動産として保有していた有形固定資産を保有目的変更により、「cowcamo (カウカモ) 事業」の販売用不動産に振替えております。これにより、「cowcamo (カウカモ) 事業」の資産が206,405千円増加しております。